

1 単元名

人権教育のよとめ

2 授業について (ねらいや付けたい力、工夫点等)

人権クロスロードを実施し、自分で考え判断する力、その判断の根拠を考える力、他者の意見から考えを導める力を養い、人権について考え続ける姿勢の大切さに気づく。

3 単元構成

1年次…いじめ、インターネット・SNS、障がい者、ハンセン病、エイズ。

2年次…人権について (差別と区別、正しく知る)、SOGI (高野さん講演)、アンコンとマイクロアgression、部落差別。

3年次…就職差別。

4 本時の学習指導

(1) 目標

同上。

(2) 学習指導過程

学習活動	予想される子どもの反応
人権クロスロード 説明	
練習問題 「宝くじで100万円 当たったら、 家族に報告するか」	
① 「クローを輸入した人 が銭湯に入るこ とについて」	Yes. ・他人に迷惑をかけることは限らない ・暴力団などと結びつけるのは偏見になる ・外国人の文化
② 「障がいがある人が、 自らの特性をSNS で発信することに ついて」	No. ・「クローがあの人=怖い人」とのイメージで判断するのはおかしい ・他の人が怖いと感じる・安心できない。 Yes. ・誤解を減らす。同じ障がいのある人の役に立つ
③ 「同性愛者の友人の 「告白」を後押しするか どうかについて」	No. ・差別の助長になる。発信できる人だけが代表のようになってしまう。 Yes. ・本人の自由・恋愛を諦める必要はない
まとめ。	No ・相手の関係性がわからない・アブテンションな相手は受けがたい